



石神井川を楽しもう！

石神井川探険隊

川に入ろう！

9時、高野台の駅前広場に集合。佐藤さんと、会員の丸山さんの二人が出迎えてくれました。参加者は5家族(総勢11名)で、みんな石神井川の周りに住んでいる方。また、



過去にも佐藤さんのイベントに参加したことのある方もいました。

佐藤さんから今日の予定など、説明をいろいろ受けたあと、さあ、みんなで石神井川に向けて出発！

最初のポイントは、南田中橋付近。ここで川底にある石を使って、川の流れを矢板と護岸の間に導いて、ビオトープを作ってみよう！というものでした。いよいよ、橋の近くの階段状になった護岸から、柵のカギを開けて川にみんなで行っていき、岸から見たときよ



り、深さが違って意外と深かったり、思った以上に冷たくて、とても気持ち良かったです。また、石神井川に普段流れている水はとてもきれいです。ほとんどが湧水だと佐藤さんは教えてくれました。さて、水に馴染んできた後、水をせき止める作業の始まりです。出来るだけ大きな石を見つけるのにみんな一生懸命川底を探しまわります。おかげで作業はあっという間に終了です。



石神井川は、そのほとんどが3面をコンクリートで固められた、俗にカミソリ堤防といわれる岸壁に囲まれた川。この日は、代表の佐藤さんが許可をもらって、中に入ることができました。今回は、石神井川に入ってビオトープ(生物が生息できる空間)をつくろう！というイベントの様子をお伝えします。

まち活
つうしん
2
かわらぬ

ねりままちづくりセンター 取材日:2008.09.14



グループに分かれてビオトープづくり

少し西にある次のポイント、茜歩道橋へ移動して、いよいよ今日のメインのビオトープづくり開始。川の両側にちょっと広がった陸地があるのですが、片方の陸地には3種類の穴を掘ってトンボ池、もう片方の陸地には草を刈ってカモの営巣地を作ります、と佐藤さん。



最初にまず3グループに分かれてトンボ池づくりから始めました。1グループ目は、川と繋がった形で大きめのもの、2グループ目は、陸地の真ん中に大きめのもの、3グループ目は、川に繋がった形で少し小さめのもの。各グループで掘り始めてみると、草の根が邪魔をしてなかなか掘るのにも力が必要で、子どもも大人も汗をかきながら必死に掘りました。掘っていてびっくりしたのは、ミミズがうじゃうじゃ出てきたこと。そこはミミズにとっては最高の環境だったのです。

池掘り(ビオトープづくり)が終わったら、川を横断して対岸に渡って「カモたちの営巣地」づくりです。川原の平らな部分の草を刈り取って寝かせて置きました。川からの上り口もつくりました。



みんなの頑張りで、3つのビオトープと「カモの営巣地」を無事完成。大満足で終了することが出来ました。みなさん大変おつかれさまでした！

石神井川探検隊
代表の佐藤さんに
聞きました。



Q. 今日みんなでピオトープを作成しましたが、せっかく作っても大雨が降ると壊れてしまうんですね。佐藤さんがここにピオトープを作るといふ事で狙っていることは何ですか？

確かにピオトープは大雨の時は影響を受けますが、あった痕跡は必ず残ります。また、少々の増水には小魚や、昆虫類の避難場所として役立ちます。大事なことは、川や川原には多くの生物が存在していることを、子ども達を含めた多くの人たちに**体感**して欲しいということです。そしてこうした活動を通じて生きた川を取り戻し、川本来の役割をとり戻していきたいと思います。



ザリガニを見つけたよ！

Q. これからピオトープづくり以外に石神井川でどんなことをやってみたいですか？

平成17年から石神井川で川遊びを始めました。川で遊ぶ楽しさ発見から始め、川の中を**ジャブジャブ歩き**してきました。21年度は石神井川に用意されている(つくられている)親水空間3つ、それぞれに**ピオトープ**をつくらうと思っています。こうした活動を**子供たち**(保護者も一緒)と進めていきます。

練馬まちづくりセンターは

“まちづくり活動助成事業”で、

石神井川探検隊の活動を応援しています。まちづくり活動助成事業とは、まちづくり活動を行っている団体を支援する事業です。当センターのまちづくり活動助成には3つの部門があります。

【はばたき部門】 身近な生活空間の保全・改善・創造のための活動への助成です。

【たまご部門】 これから身近な生活空間の保全・改善・創造のための活動に取り組むにあたり、事前の学習をおこなうこと に対しての助成です。

【テーマ部門】 身近な場所で生き物を呼ぶ空間をみんなで楽しみながら創りだす活動への助成です。

練馬まちづくりセンターとは…

練馬区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会を実現するために、区民の主体的なまちづくり活動を支援するとともに、区民・事業者・行政から独立し連携を図る、中間的な立場から協働型まちづくり事業を実践する組織です。

発行：(財)練馬区都市整備公社 練馬まちづくりセンター

練馬区豊玉北 6-12-1 (区役所 東庁舎 6F) Tel 03-3993-5451 • Fax 03-3993-8070 • Eメール machi@nerimachi.jp • ホームページ <http://nerimachi.jp>

石神井川探検隊 について



設立 2005年9月

活動テーマ 本来、川はもっと身近であるべきだ。その為のガイド役に、と思っている。

活動場所 石神井川

活動内容 岸辺・川面の工夫
(ピオトープづくり) ほか

団体連絡先 TEL:03-5910-7056 (佐藤)

取材日記

こうして今回、普段柵があり入れない川に入るだけではなく、そこで何かを行うということ(今回はピオトープ作りでしたが)は、より川に対して親しみを持って、身近にある貴重な自然環境について考えるきっかけにつながっているように感じました。

今回、ピオトープづくりの現場となった南田中橋周辺は、石神井川の中でも水面にかなり近いところまで降りることができます。水深もひざ上ぐらいの川に入って親しむには最高の場所だったのですが、佐藤さんの話によると、そこも今年度中に河川改修で川底を深く掘られるそうです。雨水対策は重要だけれど、川の形を変える前に各家庭の排水や雨水浸透樹の設置の問題も考えて、石神井川を単なる景色としてではなく、みんなの力でより普段の生活の中で楽しめる場所に出来たらなぁと感じました。

参加した後、気になって何度か現場に足を運んでみたのですが、残念なのは、誰が、何を、何の為にやっているのかを知らせる工夫が全くないということです。参加した者としては、活動の実績を積極的に周りにアピールして欲しいと感じました。

何はともあれ、みなさんも、もし今回の様に石神井川に入れる機会があったら、ぜひ入って体験してみてください。いろんな発見があって本当に楽しいですよ！